



IN-CEILING SPEAKER

シーリングスピーカー

NS-IC400




取扱説明書

JA

本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために)

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	「～しないでください」という「禁止」を示します。
	「必ず実行してください」という強制を示します。



警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



分解禁止

分解・改造は厳禁。

火災や感電の原因になります。

修理・調整は販売店にご依頼ください。



必ず実行

取付け後は必ず安全性を確認する。

また、定期的に落下や転倒の可能性がないか安全点検を実施してください。

取り付け箇所、取り付け方法の不備による事故等の責任は、一切負いかねますのでご了承ください。



注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。



禁止

不安定な場所や振動する場所には設置しない。

本機が落下して、けがの原因になります。



注意

スピーカーを天井に設置する際は、以下のことに注意する。

● 安全のために必ず2人以上で取り付ける。

● 薄いベニヤ板の天井や柔らかい天井には取り付けない。

正しい方法で設置しないと、スピーカーが落下してけがの原因になります。



禁止

傾斜のある天井には設置しない。

スピーカーが落下して、けがの原因になります。



スピーカーに断熱材、防音材などをかぶせて使用しない。
また、スピーカーは断熱材から離して設置してください。

禁止



注意

機器を接続する場合は、接続する機器の電源を切る。



必ず実行

電源を入れる前や、再生を始める前には、音量（ボリューム）を最小にする。
突然大きな音が出て、聴覚障害の原因になります。



禁止

音が歪んだ状態で長時間使用しない。
スピーカーが発熱し、火災の原因になります。



禁止

本機に乗ったり、寄りかかったりしない。
転倒・落下したり破損したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

薬物厳禁
ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また接点復活剤を使用しない。
外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

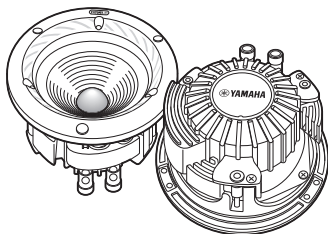
目次

安全上のご注意.....	2
目次.....	3
準備.....	4
スピーカーの取り付け.....	5
取り付ける前に.....	5
取り付け方法.....	6
スピーカーケーブルとの接続.....	9
接続について.....	9
接続の仕方.....	9
接続したあと.....	10
スピーカーグリルの塗装.....	10
仕様.....	10

準備

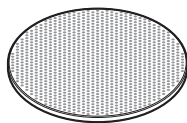
同梱品

同梱品を確認してください。

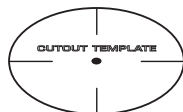


スピーカー × 2

* スピーカーケーブルは付属しておりません。



スピーカーグリル × 2



切り抜きテンプレート × 1

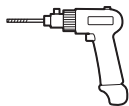
取り付けに必要な道具

スピーカーを天井に取り付けるには、以下の道具をご用意ください。

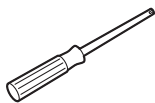
* 取り付け面の材質に適した道具をお使いください。



鉛筆



ドリル



プラスドライバー



強度のあるワイヤー
(針金ハンガーなど)
または探知機



ワイヤー
ストリッパー



安全ゴーグル



回し挽き鋸
または電動ジグ
ソーや他の専用
電動切削工具



手袋

スピーカーの取り付け

取り付ける前に

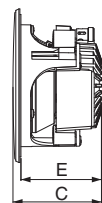
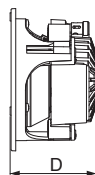
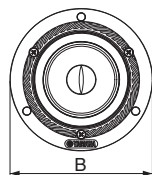
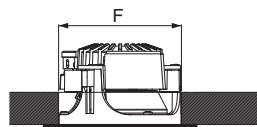
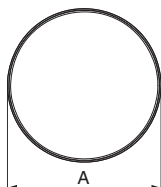
天井にスピーカーを取り付ける前に、以下の推奨手順をご確認ください。

- 取り付けを開始する前に、この取扱説明書をよくお読みになり、各地域の建築基準条例もご確認ください。
- スピーカーを取り付ける前に、設置場所までスピーカーケーブルを這わせてください。

天井板厚と天井上のスペース

- 取り付け位置の天井にジョイントや間柱がないことを、軽く叩いたりスタッドセンサーなどの探知機を使ったりして確認してください。
- 天井上に取り付け作業に必要な十分なスペースがあり、ダクトやパイプなどの障害物がないことを確認してください。
- 取り付けに必要な天井板厚は、5～30mm です。

直径 A	φ 150 mm
直径 B	φ 139 mm
奥行 C	86.5 mm
奥行 D	84 mm
奥行 E	79 mm
直径 F (天井開口寸法)	φ 122 mm



スピーカーグリルなし スピーカーグリルあり

- シーリングスピーカーを取り付けるときは、スピーカーの質量 (0.8kg) と天井の強度にご注意ください。
- 取り付けようとしている天井に隠れている間柱、電気配線、配管などにご注意ください。スピーカーを安全に取り付ける方法がわからない方は、専門の設置業者やコントラクターにご相談ください。

注意

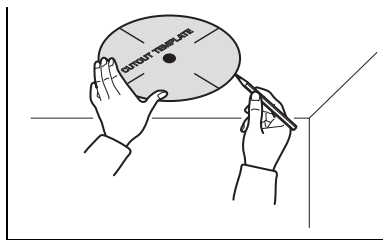
- スピーカーを取り付けるときは、ドライバーユニットの中心部に触れたり、強い衝撃を与えたりしないようにしてください。これらが窪むと、音が歪む原因になります。
- 本スピーカーは非防磁型です。近くのテレビなどのディスプレイに色ムラやノイズが生じる場合があります。その場合は、少し離して設置してください。

NOTE

- スピーカーグリルを塗装する場合は、実行する前に必ず 10 ページの「スピーカーグリルの塗装」をお読みください。

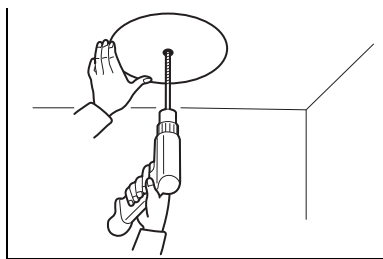
取り付け方法

以下の取り付け方法は、天井の材質が石膏ボードの場合の推奨手順です。



1 スピーカーの取り付け位置に切り抜きテンプレートを置いて固定します。

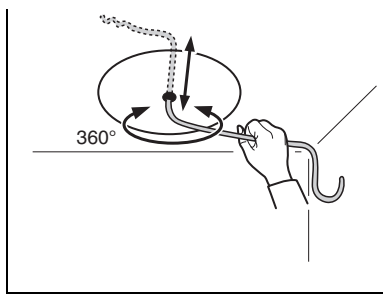
2 テンプレートの外周を鉛筆でトレースします。中央の穴が開いている箇所にも印を付けます。



3 中央の印の位置にドリルで下穴を開けます。

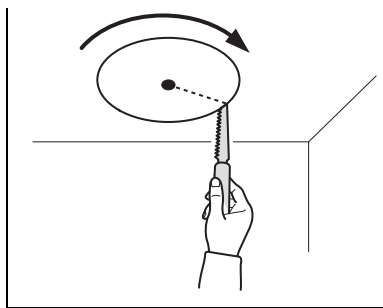
警告

- ・ドリルや切削工具を使用するときは、目を保護するために安全ゴーグルをかけ、すべての安全上の注意を順守してください。



4 探知機を使って天井裏を確認していない場合は、取り付け位置の裏側のスペースをチェックするために、曲げた強度のあるワイヤー（針金ハンガーなど）を下穴に挿入し、ゆっくりワイヤーを回して障害物が何も無いことを確認してください。

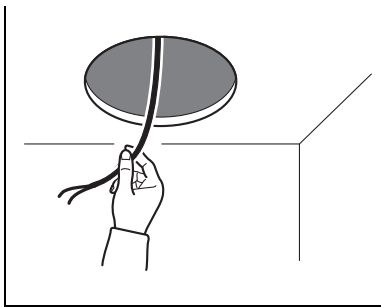
- ・もし何か障害物が見つかった場合は、下穴を修復し、別の位置に取り付けてください。



5 回し挽き鋸の先を下穴に挿入し、トレースした円周をすべて切り抜きます。または、電動ジグソーや他の専用電動切削工具を使って切り抜きます。

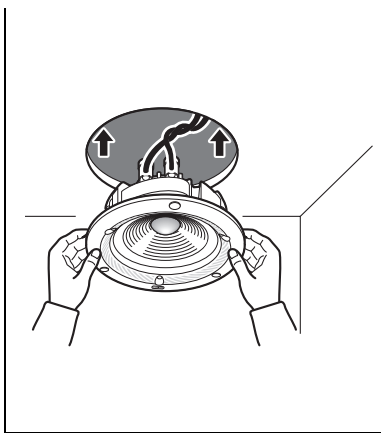
警告

- ・ドリルや切削工具を使用するときは、目を保護するために安全ゴーグルをかけ、すべての安全上の注意を順守してください。



- 6** 穴からスピーカーケーブルを引き出します。
- ・ケーブルを引き出すときは、多少余裕のある長さに引き出しておくとういでしょう。

- 7** スピーカーケーブルをスピーカーに接続します。
- ・手順について詳細は、9 ページの「スピーカーケーブルとの接続」をご参照ください。

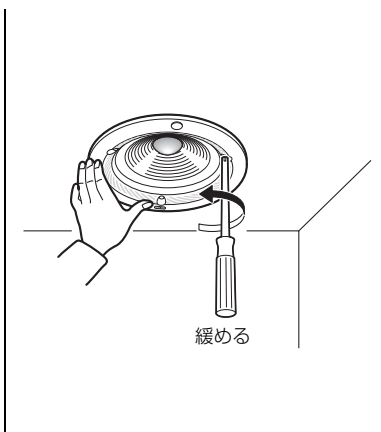


- 8** スピーカーを天井に向かって置きます。

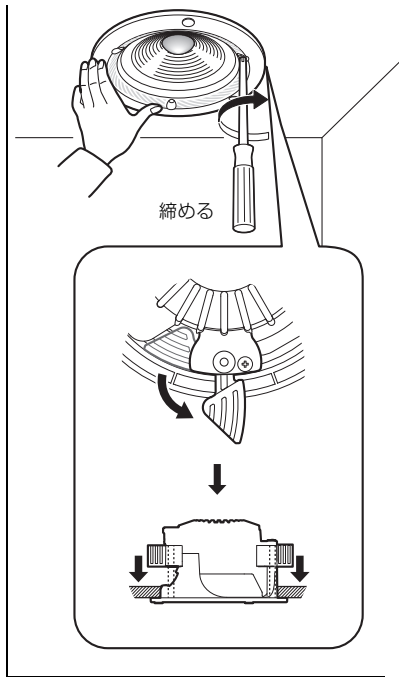
注意

- ・スピーカーを取り付けるときは、スピーカーのコーンやキャップに直接触れないでください。故障の原因になります。
- ・スピーカーを天井に挿入するときは、クランプが内側を向いていることを確認してください。

- 9** スピーカーを天井の穴に挿入します。必ず 3 つのネジを反時計回りに 1 回転緩めてください。クランプが開きやすくなります。



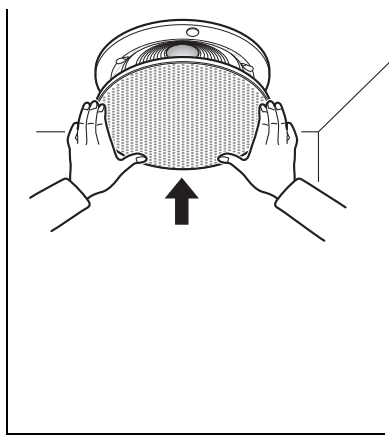
スピーカーの取り付け



プラスドライバーで3つのネジを時計回りに同じ強さで締めます。このとき、3つのクランプが天井の中で開きます。開いたクランプが天井板とスピーカーを押さえ込み、スピーカーを固定します。クランプが天井に十分にグリップするまで、ネジを堅く締めます。

注意

- ネジを締めるときは、強く締めすぎないでください。クランプが壊れたり、天井ボードを破損させたりする原因になります。
- 電動ドライバーを使用する場合は、スピーカーや天井ボードが破損しないように非常に低トルクの設定にしてください。
- ネジが緩んだり、スピーカーと天井の間に隙間ができたりしないようにしてください。



10 スピーカーグリルをスピーカーに取り付けます。

- スピーカーフレームに磁石があるので、グリルをフレームに直接取り付けます。グリルを取り付けるときは、グリルがスピーカーから落下しないようにしっかり固定されていることを確認してください。

注意

- グリルを取り外すときは、落下してケガしたりしないように十分ご注意ください。また、グリルを取り外すときは、外周上に均等に力を加えてください。1箇所に過度の力を加えると、グリルが曲がる原因になります。

スピーカーケーブルとの接続

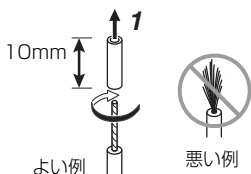
接続するときは、必ずアンプの電源を切ってから行なってください。

- 接続するときは、接続している機器の取扱説明書もご参照ください。

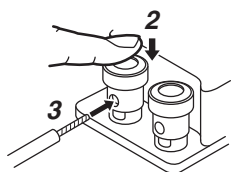
接続について

- スピーカー背面にある入力端子とアンプのスピーカー出力端子をスピーカーケーブルで接続します。
- それぞれの極性“+”（赤），“-”（黒）を確認して接続してください。スピーカーを複数台使用する場合、極性が統一されていないと本来の性能を発揮できません。

接続の仕方



- 1 スピーカーケーブル先端の絶縁部（被覆）を 10 mm くらいはがし、芯線をしっかりよじります。

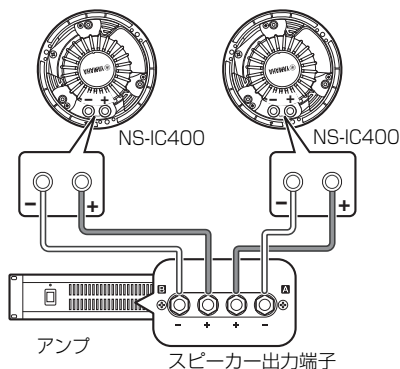


- 2 スピーカー端子の上部を押し込んで、そのまま押さえます。

- 3 スピーカー端子の穴に、スピーカーケーブル（市販）の芯線を差し込みます。

- 4 端子から指を離して、ケーブルを固定します。

- ケーブルを軽く引っ張ってみて、しっかり固定されていることを確認してください。



注意

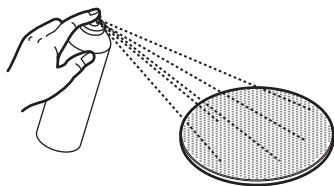
- スピーカーケーブルの芯線同士が互いに接触していないか確認してください。接触しているとスピーカーやアンプの損傷の原因となります。

接続したあと

- ・ 音源を切り替えるときは、必ずボリュームを下げてから行なってください。ボリュームを上げた状態では、音源を切り替えないでください。ケーブルの取り付け/取り外し時は、必ずアンプの電源を切ってください。
- ・ 音が歪んでいると感じたときは、アンプのボリュームを下げてください。クリップした状態でアンプを駆動させないでください。

スピーカーグリルの塗装

この製品のスピーカーグリルは、内装に合わせて塗装することができます。高品質のスプレー式塗料を使い、十分に換気された場所で作業してください。



- 1** グリルが取り付けられている場合は、注意してグリルをスピーカーから取り外します。
- 2** グリルの裏に付いている不織布を剥がします。不織布を留めていた粘着剤は再使用できます。
- 3** 塗料をグリルに噴きかけます。
 - ・ グリルの穴が塗料で塞がらないようにしてください。
 - ・ 穴が塗料で塞がれると音質が低下する原因になります。
- 4** 塗料が十分に乾いたら、不織布をグリルの裏に取り付けなおします。
- 5** グリルをスピーカーに取り付けなおします。

仕様

形式	メカニカル 2WAY 型	
再生周波数帯域 (-10dB)	95Hz-40kHz	
定格インピーダンス	8Ω	
許容入力	NOISE	15W
	PGM	30W
	MAX	90W
出力音圧レベル (1W, 1m)	85dB SPL	
コンポーネント	10cm ダブルレイヤーコーン	
コネクター	プッシュターミナル	
寸法	φ150x86.5H mm	
質量	0.8 kg	
付属品	グリル、テンプレート	

* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

サービスのご依頼、お問い合わせの必要がございましたら、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など）とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間

保証書をご覧ください。

●保証期間中の修理

保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのかが、製品ごとに定められています。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。下記の部品などについては、使用時間や使用環境などにより劣化しやすいため、消耗劣化に応じて部品の交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

消耗部品の例

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

この製品（搭載プログラムを含む）のご使用により、お客様に生じた損害（事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益）については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

●お客様ご相談窓口

アフターサービス以外で、製品に関するご質問・ご相談は、お客様ご相談窓口までお問い合わせください。

◆修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル

(全国共通番号)



0570-012-808

※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

上記番号でつながらない場合は **TEL 053-460-4830**

受付時間

月曜日～金曜日 9:00～18:00、土曜日 9:00～17:00（祝日およびセンター指定休日を除く）

FAX

東日本（北海道／東北／関東／甲信越／東海）

03-5762-2125

西日本（沖縄／九州／中国／四国／近畿／北陸）

06-6465-0367

◆修理品お持込み窓口

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～17:45（祝日および弊社休業日を除く）

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1 京浜トラククターミナル内14号棟A-5F FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒554-0024 大阪市此花区島屋6丁目2-82 ユニバーサル・シティ和幸ビル9F FAX 06-6465-0374

*名称、住所、電話番号などは変更になる場合があります。

●お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

ナビダイヤル

(全国共通番号)



0570-050-808

※全国どこからでも市内通話料金でおかけいただけます。

PHS、IP電話からは **03-5652-3618**

(電話受付＝祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)

Fax: 03-5652-3634

オンラインサポート: <http://jp.yamaha.com/support/>

●営業窓口

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12 KDX 箱崎ビル1F

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。

保証書

持込修理

品名	シーリングスピーカー		
品番	NS-IC400		
※シリアル番号			
保証期間	本 体	お買上げの日から1ケ年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	□ □ □ □ - □ □ □ □ □ □		
	ご住所		
	お名前	様	
	電 話	()	

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をおわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販売店	店名	()	印
	所在地		
	電 話		

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご購入品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
 - この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
 - ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
 - その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト：
<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>
ヤマハマニュアルライブラリー：
<http://www.yamaha.co.jp/manual/japan/>

C.S.G., PA Development Division
©2011- 2013 Yamaha Corporation

310POZC-B0
Printed in Indonesia

WY23260